

Enjoy Jazz エンジョイ ジャズ2023

聴いてみたいけど難しそう…、と書いていても大丈夫!親しみやすい名曲を集めジャズの楽しさをお届けします。

サマー Summer

2023.7/30日
15:00開演 14:30開場

～宮本貴奈トリオ feat. 鈴木真明地～

宮本貴奈 Lucky★10th (日本デビュー 10周年記念シリーズ)

日本デビュー 10周年を迎え、国際的に活躍するピアニスト・作編曲家、宮本貴奈が世界的に名高い選りすぐりのスタンダードと共にジャズの扉を優しく開く、珠玉のパフォーマンス。



宮本貴奈(ピアノ、ヴォーカル)



小川晋平(ベース)

オータム Autumn

2023.9/10日
15:00開演 14:30開場

～田中菜緒子スペシャルトリオ feat. 松島啓之～

気鋭のピアニスト田中菜緒子率いるスペシャルトリオが大野雄二&ルパンティック・シックスの松島啓之をゲストに迎えた極上のステージ!伊勢崎市出身の実力派ベーシスト須川崇志も出演!!



田中菜緒子(ピアノ)



松島啓之(トランペット)



小田桐和寛(ドラムス)



鈴木真明地(サクソ、タッポ)



須川崇志(ベース)



藤井学(ドラムス)

【予定曲目】 What A Wonderful World(この素晴らしい世界)、Moanin'、My Favorite Things(私のお気に入り) ほか

【予定曲目】 ルパン三世のテーマ、Autumn Leaves(枯葉)、Someday My Prince Will Come(いつか王子様が) ほか

会場 玉村町文化センター『にしきのホール』(大ホール)

チケット 全席指定 一般2,500円(高校生以下 1,000円)※未就学児入場不可

チケット発売 Web先行 5月17日(水) 9:00～
窓口販売 5月27日(土) 9:00～
電話予約 5月27日(土) 13:00～※窓口で完売の場合はお受けできない場合がございます。

お得な2公演セット券 4,500円
※セット券の販売は7月30日まで



LivePocket-Ticket-



玉村町文化振興財団HP

玉村町文化振興財団

Enjoy Jazz

エンジョイ ジャズ2023

サマー

Profile

宮本貴奈 Takana Miyamoto/piano,vocal

茨城県出身。国際的に活躍するピアニスト、ボーカリスト、作編曲家。米英で20年活動、約30カ国で演奏。米パークリー音楽大学へ留学、映画音楽作曲科&ジャズ作曲学部卒。1998年NYへ拠点を移し、エドマンジャズピアノ大会で全米優勝。ニーナ・フリーロン(vo)のワールドツアーに5年間参加、ピアノ&アレンジ参加作『Soulcall』が2001年米グラミー賞2部門でノミネート。ジョージア州立大学ジャズ教育学部修士課程卒。2013年帰国後、リーダー作『On My Way』で日本デビュー。2020年最新作『Wonderful World』をリリース。八神純子、May J.、絢香、大黒摩季、小野リサ、城田優、稲垣潤一等との共演やレコーディング、アレンジ・プロデュースの他、岩崎宏美、タケカワユキヒデ、今井美樹、日野皓正、宮沢和史などのオーケストラ・ストリングス編曲も担当するなど、音楽全般に渡り活躍中。

小川晋平 Shinpei Ogawa/bass

愛知県出身。13歳でエレクトリックベースを始め、ジャズの魅力に惹かれ16歳でアコースティックベースを始める。2016年に渡米し、California Jazz Conservatoryに入学。Jeff Densonを始め様々なミュージシャンに師事する傍らサンフランシスコ周辺のライブハウスやスタジオを中心に演奏活動をする。2019年にNYに移り、2021年に帰国。東京に拠点を移し、日野皓正、小曾根真、Gene Jackson、黒田卓也、大林武司らと共演するなど都内のライブハウスを中心に活動する。

小田桐和寛 Kazuhiro Odagiri/drums

神奈川県出身。2008年国立音楽大学打楽器科へ進学。「山野ビッグバンド・ジャズコンテスト」で最優秀賞を3年連続で受賞。在学中は渡辺貞夫、小曾根真、山下洋輔各氏に師事。卒業時には最優秀者に送られる「山下洋輔賞」を受賞。同年小曾根真氏の推薦でパークリー音楽大学に特待生として留学、首席で卒業。2014年卒業後はNYへ拠点を移し、黒田卓也(tp)等と共演する一方、日本でも小曾根真(pf)、宮本貴奈(pf)、寺久保エレナ(sax)等と共演を重ねる。2022年小曾根真のNew Project "From OZONE till Dawn"に参加。様々なジャンルの音楽から体得した独自の演奏スタイルは各方面から注目を集める。

鈴木真明地 March Suzuki/sax,tap

愛知県出身。6歳よりサクソフォンとタップダンスを始める。クラシックサクソフォンを三日月孝、堀江裕介、坂東邦宣の各氏に、ジャズサクソフォンを池田篤氏に師事。2012年かわさきタップダンスフェスティバル、タップダンスソロコンテストにて、審査員最高得点、中川三郎賞を受賞。9年間、リトルヒルズジャズオーケストラに所属し、Japan Student Jazz Festivalで優勝及び個人賞受賞。2018年国際ジャズオーケストラ・フェスティバルでは個人賞並びに最優秀個人賞を受賞。2019年高校生ソロプレイヤーズコンテストにて、グランプリを受賞。愛知県立明和高校音楽科を経て、現在国立音楽大学ジャズ専修在学中。

オータム

Profile

田中菜緒子 Naoko Tanaka/piano

福岡県出身。桐朋学園大学ピアノ科在学中にブルガリア国際コンクールで1位を受賞。2013年及び2014年自身のトリオにて上海公演を成功させる。2017年7月キングレコードより超高音質録音による初のスタンダード作『I Fall In Love Too Easily』をメジャーリリース。同年10月村田千紘(tp)とのデュオユニット「村田中」による1st作『Selfie』をキングレコードよりメジャーリリース。同年12月アクロス福岡シンフォニーホールにて、九州交響楽団と「ラブソフィー・イン・ブルー」を共演。2019年久留米シティプラザ・グランドホールで開催された福岡インターナショナル・バレエフェスティバル・ガラコンサートに出演。これまでに多数の著名なジャズプレーヤーと共演する中、POPSシーンでもGRAYのTERU&TAKURO、桜井和寿(Mr.Children)、C&Kなど、多くのメジャーアーティストのサポートを行う気鋭のピアニスト。

松島啓之 Keiji Matsushima/trumpet

神奈川県出身。中学時代にプラスバンドでトランペットを始め、ジャズに目覚める。1988年～1991年パークリー音楽大学(米・ボストン)に留学。同期には大西順子、大坂昌彦、山田稔、グラミー賞受賞トランペッターのロイ・ハーグローブ等がいる。帰国後様々なセッションに参加し、日野元彦、峰厚介、本田竹廣、小林陽一&グッドフェローズ等のグループで活躍。現在は自己のグループを中心に、人気メジャーグループ「大野雄二&ルパンティックシックス」と「熱帯ジャズ楽団」を兼任する。リーダー作は、ライブ録音による最新作『dedicated to you』を含め5枚を数える。ハードバップ系のスリリングなインタープレイを得意とする本格派トランペッター。

須川崇志 Takashi Sugawa/bass

群馬県出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でコントラバスを始める。2006年パークリー音楽大学を卒業。その直後に移住したニューヨークでは菊地雅章氏に師事する。2009年に帰国後、辛島文雄トリオを経て日野皓正クインテットのベーシストを6年間務める。現在は自身が主宰するBanksia Trio(林正樹、石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット等多くのグループに参加。また、日本テレビ系『news zero』のエンディングテーマ曲となった米津玄師の「ゆめうつつ」等のレコーディングにも参加する。これまでに東京ジャズ、デトロイト(米)、モントルー(スイス)、プリズベン(豪)、メルス(独)、香港など数多くの国際ジャズフェスティバルに出演。リーダー作は全3作を数える。現渡辺貞夫カルテットのメンバー。

藤井学 Manabu Fujii/drums

広島県出身。14歳からドラムを始め、15歳の時『リッチ vs ローチ』のレコードを聴き、ジャズに目覚める。大学進学を機に名古屋で佐武伸康氏に師事。その後、阿川泰子のバンドメンバーとして、日本テレビ「オシャレ30・30」に出演。2004年アメリカ録音によるリーダー作『I'm a drummer』をリリース。2011年よりサリナ・ジョーンズの全国ツアーをサポート。渡辺香津美、寺井尚子、市川秀男、向井滋春、木住野佳子、矢野沙織、カール・カーター、テイブ・フィンク、バリー・フィナティ等、ビッグネームと多数共演。オール・ジャンルをこなすテクニカルなドラマー。